

wire Tube 2018: 投資意欲の高い来場者が多数参加 両展は大成功のうちに終了

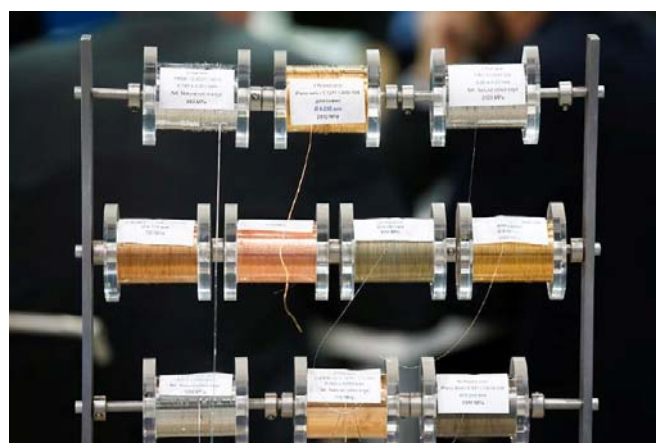
インフラ、自動車産業、電気産業、再生可能エネルギープロジェクト、石油・ガスパイプラインなどにおいて、投資は世界中に広がり、活況を呈している。川上の供給サイドにあたるワイヤー、ケーブル、パイプ産業は、その影響を受け、2018年4月16日～20日にデュッセルドルフで開催された wire2018 国際ワイヤー産業展、及び Tube2018 国際管材製造加工・技術展は大成功のうちに終了した。

16回目の開催となった両展には2,680社を超える出展者がデュッセルドルフに集結、16ホールを使用し、実質展示面積117,000㎡（2016年：110,000㎡）超に、最新製品や技術などを展示発表した。世界134カ国からの71,500人を超える来場者（2016年：69,500人）は、業界の最新技術・製品やトレンドを直に確認し、ビジネス取引を締結するなど、商談目的のため、5日間の会期にわたりデュッセルドルフを訪問した。

wire 2018

「wire 2018 – 国際ワイヤー産業展」では、世界53か国・1,442社の出展者が、9～16号館の計8ホール・約65,700㎡に最新製品・技術を発表した。

主な出展製品は、ワイヤー・ケーブル製造・加工機械・機器、工具、加工用補助材料、特殊ワイヤーから、測定・制御・検査技術、ロジスティクス、運搬システム、パッケージングにまで至る。ファスナー技術は15号館、ばね製造関連は13号館で展示された。



join the best:
16-20 April 2018

Düsseldorf, Germany

www.wire.de



join the best:
16-20 April 2018

Düsseldorf, Germany

www.tube.de

出展者はヨーロッパからドイツ、イタリア、フランス、スペイン、オーストリア、オランダ、スイス、トルコ、イギリスなどの参加企業が多く、ヨーロッパ以外では、北米、インド、台湾、韓国や中国からの出展者が多く参加した。日本からの直接出展参加企業は 14 社を記録した。

以下、日本出展企業のコメント：

深瀬商事株式会社：

「弊社は第一回から wire に出展していますが、専門の展示会で良く運営されていて満足です」

日本タッパー株式会社：

「日本の展示会で出会ったことがない国や会社が数多くありました」

オリイメック株式会社：

「海外拡販において大に役立たせて頂いた」

Tube 2018

「Tube2018—国際管材製造加工・技術専門展」では、57ヶ国から 1,241 社が出展参加し、3～7a、7.0、6～18 号館で約 52,000 m²の出展面積を使用して管材の最新製品と技術を発表した。



Tube では製造から加工、仕上げまで、管材に関する全てのバリューチェーンがカバーされた。管材製品の他に、材料や関連設備と機械、プロセスツール、測定・制御技術や検査技術、または自動化ストレージなどの幅広い展示カテゴリが見られた。

Tube は wire 展と同様、出展者はドイツ、イタリア、イギリス、オランダ、オーストリア、スイス、ポーランド、スペイン、トルコという国からの出展参加が多数であった。日本からの出展者は、今回 5 社であった（日系の欧州現地法人含まず）。

株式会社日本特殊管製作所：

アジアの見本市と違い、欧州や中東の見学者が多く見られた。

来場者データ

会期 5 日間には、「wire 2018 / Tube 2018」合計で 134 ヶ国から約 71,500 名の業界関係者が来場した。前回に引き続きドイツ国外からの来場比率が高く 70%を記録した（うち 30%は EU 以外）。来場者の 70%は、決定権を持つ役職者だった（最終決定者・共同決定者）。また、アンケート結果によると、来場者の 50%が「投資目的で来場した」と回答した。日本からの来場は約 800 人であった。



メッセ・デュッセルドルフが日本の出展・来場者を大歓迎



例年通り今回も（株）工業通信（＝電線新聞）が視察ツアーを企画、訪問団をデュッセルドルフへ派遣した。会期初日の 4 月 16 日、会場内のインターナショナル・ラウンジで、wire 2018 デビュティ・ダイレクター Ryfisch が視察団を迎え、歓迎の挨拶を行った。

またメッセ・デュッセルドルフ・ジャパンが本社と共同で、翌 4 月 17 日に日本出展者と来場者を対象とした「ジャパン・イブニング」を開催。同イベントは 5 回目の開催となり、リラックスした雰囲気の中で、参加した 40 名の出展と来場参加者間で、意見交換やビジネス交流を行った。メッセ・デュッセルドルフ本部取締役シェーファーも出席し、歓迎の挨拶を行った。

次回の wire Tube は、2020 年 3 月 30 日～4 月 3 日まで開催される予定。

wire・Tube に関するお問い合わせは、[（株）メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン](mailto:mdj@messe-dus.co.jp)まで。または下記、日本語ホームページをご覧ください。

<http://wire.messe-dus.co.jp>

<http://tube.messe-dus.co.jp>

（株）メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン
担当：A.ユング mdj@messe-dus.co.jp

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1
ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL.: 03-5210-9951

FAX: 03-5210-9959